

授業科目 助産診断・技術学Ⅰ

【担当教員名】 下山 博子 他		対象学年	3	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎				
【概要】 妊産褥婦と胎児、新生児を対象とする産科学・新生児学（正常・異常）を学ぶ。					
【学習目標】 1 妊娠期の医学的診断・治療について理解する。 2 分娩期の医学的診断・治療について理解する。 3 産褥期の医学的診断・治療について理解する。 4 新生児期の医学的診断・治療について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	産科学 1			1～3	講義
2	産科学 2			1～3	講義
3	産科学 3			1～3	講義
4	産科学 4			1～3	講義
5	産科学 5			1～4	講義
6	小児科学 1			1～4	講義
7	小児科学 2			1～4	講義
8	小児科学 3			1～4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイ	遠藤俊子責任編集	日本看護協会出版会	2009・4,500円＋税
		リスク妊産褥婦・新生児へのケア			
		改訂第22版 最新産科学 正常編	荒木勤著	文光堂	2008・5,000円＋税
		改訂第21版 最新産科学 異常編	荒木勤著	文光堂	2008・7,000円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席ならびに試験 100%			【履修上の留意点】 課題意識をもって主体的に学習し、助産師に必要な医学的診断・治療に関する知識に基づき、助産師としての役割・態度について学んでください。		